

# THE WEEKLY NEWS OF EAST KISARAZU



国際ロータリー第 2790 地区  
木更津東ロータリークラブ  
2021-22 年度

●例会日 毎週水曜日 PM12:30~1:30 ●例会場 オークラアカデミアパークホテル TEL 0438-52-0111  
●事務局 木更津市朝日 1 丁目 2-29 シグママンション朝日 B 棟 105 号 TEL 0438-25-0716 FAX 0438-25-0718

2021-22 年度国際ロータリーテーマ

## 奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために SRVE TO CHANGE LIVES

第 38 回例会 NO. 2559

2022 年 5 月 18 日

【 上総 RC 合同例会 】



木更津総合高校インターアクト部

■司会進行

加藤智生 SAA



◆四つのテスト

倉島和弘会員



◆点鐘 12時30分 渡邊慎司会長

◆Rソング斉唱 「奉仕の理想」

◆出席 会員 42名 ◆出席率 86.84%  
出席 33名 ◆前々回出席率 84.61%  
欠席 9名 ◆修正後出席率 87.17%

◆欠席者【敬称略】

嶋津正和・鈴木秀幸・趙 亜南・中野麻美・  
林田謙治

ホームページ <https://kisarazueast-rc.jp>

木更津東ロータリークラブ

会 長 渡 邊 慎 司  
幹 事 吉 田 和 義  
編 集 大 岩 も え

国際ロータリー第 2790 地区

RI 会 長 シェカール・メータ  
地区ガバナー 梶 原 等  
ガバナー補佐 鈴 木 荘 一

◆メイクアップ

- 5/17 第5グループ親睦ゴルフ大会  
坂井健治・渡邊慎司・石田亨・加藤智生・渡部和夫
- 5/18 第5回被選理事会・第2回委員長会議  
大里光夫・石田亨・近藤直弘・加藤智生・宮寺順子・松岡邦佳・渡邊慎司・林孝二郎・坂井健治・阪中昌司・鶴岡大治・堀内正人・藤野宏治・倉島和弘
- 5/22 RLI DL養成コース 松岡邦佳・石田亨
- 5/23 地区大会記念ゴルフ大会 趙 亜南

◆ゲスト紹介

渡邊慎司会長

◇佐藤優希様



◇ガバナー補佐 鈴木荘一様



◇グループ 幹事 福田順也様

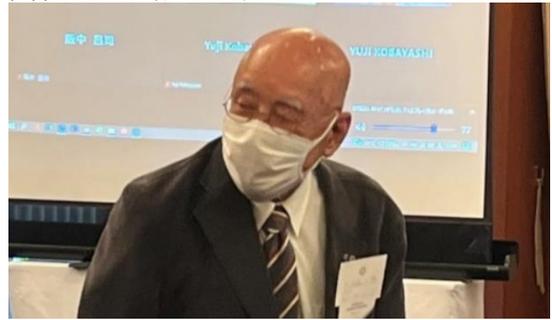


【上総 RC】

◇会長 牧野吉晃様



◇幹事 白熊 大様



◇唐鎌恒治様



◇川名史泰様



◇鳥井正俊様



◇野村進一様



◇山田弘一様



◇事務局 鳥井みゆき様



◇事務局 江澤陽子様



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

◇木更津総合高等学校インターアクト部

顧問 長島沙也香様



**■ガバナー補佐挨拶**

鈴木庄一様



日頃は地区およびグループの事業にご理解、ご協力頂きありがとうございます。渡邊会長そして吉田幹事はじめ会員皆様本当にお世話になりました。心より感謝申し上げます。ありがとうございます。

グループ全体の事業として、環境保全プロジェクト・ポリオ撲滅祈願プロジェクトを実施しました。またロータリー情報研修会では富津シティ RC の姉妹クラブである川崎マリン RC の鈴木慎二郎様に『DLP・CLP への取り組み/財団・米山への寄付推進への挑戦』をテーマに卓話を頂く機会を得ました。

会員基盤向上セミナーでは第 6・第 7G の皆様とグループを超えた活動でグループに新しい刺激を与えました。これら事業を通じ RI や地区と自クラブを照らしながらクラブの増強の参考になったのではないのでしょうか？

また地区そして同じグループのクラブの情報をストレートに、シンプルに、明確にお伝えし共有する目的で「第 5 グループ通信」を計 6 号発行しました。

一方で梶原年度初めの DLP の導入、地区再編ではグループとして“真剣に残していくもの”は何か？と考えるさせられました。コロナでパンデミックが発生し、隣国では戦争状態が続いているまさに国難の状態です、「自己の最善を他者に尽くす」今こそ、ロータリー的な生き方が求められているかもしれません。次年度は木更津 RC の梶暉芳ガバナー補佐のもとさらに輝く第 5 グループになりますこと皆様ご期待ください!!

最後に一年ともにグループを運営した会長幹事皆様、そして会員皆様に心より感謝申し上げます。ありがとうございます。

**■上総 RC 会長挨拶**

牧野吉晃様



皆さん、こんにちは。上総ロータリークラブ会長の牧野です。本日は、このような木更津東ロータリークラブ様の例会に参加させていただき誠に有難うございます。

上総ロータリークラブは、少人数クラブで

中々他クラブとの交流が乏しく、人数の関係で奉仕も限られてしまうのが現状です。今回、渡邊会長に相談した所、皆様に承諾していただきまして感謝しております。本日は、色々と勉強をさせて頂き、今後のクラブ活動に役立てたいと思いますので、宜しくお願い致します。

**■会長挨拶**

渡邊慎司会長



上総ロータリークラブの皆様、ようこそ当クラブ例会にお越し頂きました。合同例会の申し出を受け大変うれしく思います。本日は木更津東ロータリークラブの主導で実施させていただきますので宜しくお願い致します。本来ならば両クラブのメンバー紹介を行いたところではありますが、この後のアワーにおいて木更津総合高校のインターアクト部のお話もありますので、ご了承頂きたいと思っております。

まず報告事項といたしまして、4月の理事会にて承認頂いたロシア侵攻に伴い、ウクライナで起きている侵略や人道危機に対して、平和の尊さやウクライナに1日も早い平和が訪れる事を願い、ウクライナの国の花とされているヒマワリを学校で育ててもらふ活動と、平和を祈る象徴とされる千羽鶴を各学校に作成してもらふ活動について、明治安田生命保険相互会社様のご支援を受けて実施します。木更津市内の17校の小中学校に協力を頂けることになりました。

ヒマワリは石田会員が善意で育てており、ある程度大きくなったらプランターに植えて学校へ持っていきます。すでに何校かにはヒマワリと千羽鶴を作成するために材料を持っています。今後は、ヒマワリが咲いた時に写真を撮りに行きたいと思っております。また、千羽鶴も青と黄色の2色の折り紙で、ウクライナの国旗が連想できるようにしてあります。どういった千羽鶴になるかは学校ごとに違ってくると思います。ヒマワリを育てても、千羽鶴を折っても戦争が終わるわけではないという意見もありますが、祈ることをせずに放置していれば更に平和が遠のいてしまうと思っております。本日は木更津総合高校インターアクト部の皆様にお越し頂いていますが、総合高校でもヒマワリや千羽鶴を飾ってみてはいかがでしょうか。

マイロータリーには、「インターアクトクラブでは、12~18歳の中学・高校生が、地元でのボランティア活動や海外のインターアクト会員(通称「インターアクター」と)との交流を通じて視野を広げ、国際感覚を養っています。ロータリークラブの支援を受けて設立されるインターアクトクラブでは、友だちと一緒に楽しみ

ながらロータリーの「超我の奉仕」を学び、行動力を身につけます。」と書かれています。

インターアクト部の皆さんも校内や近隣のゴミ拾いを定期的に行い、歳末助け合い募金活動を毎年実施しています。自分の為にはなく、他の人を幸せにすることを第一に考えた時に、大きな目的を見出すことができると思います。

先日もヒマワリの苗を小学校に届けに行った時に、4年生の児童二人が近所の公園でゴミ拾いをして、学校に届けていました。小さい頃から気付けることができる事は素晴らしいと感じました。インターアクト部の皆さんも日頃の活動から、社会の問題に気付ける人になって頂きたいと思います。

インターアクトも国際ロータリーの一員ですが、世界にどの位のメンバーが登録されていると思いますか。世界145カ国に14,911クラブ、342,953人のインターアクトが在籍しています。コロナ禍になる前は毎年海外研修があり台湾に行っていましたが、この何年かは中止となってしまっています。インターアクト部の皆さんもコロナ禍において活動が制限されていますが、皆さんで話し合い工夫して活動して下さい。そして、いつでも私たちクラブに相談や協力の依頼をして下さい。私たちも一緒に活動できることをうれしく思っています。

高校生にしか分からない悩みや問題など、インターアクト部として何かできないかといつも意識しながら活動していただきたいと思います。

### ～ロータリーについて知ろう～

#### 第25回目

会長挨拶でも述べた「超我の奉仕」をご存知ですか。勿論知っているというメンバーが多いと思います。元々は「無私の奉仕 (Service, Not Self)」という理念でしたが、1950年デトロイトでのRI国際大会で「Service Above Self」として公式標語として正式に承認されました。このAboveという単語が使われた為、超我という言葉が使われました。超我という日本語は無く、中国語として辞典に載っていますが、述べている事は良くわかると思います。

自我の欲求を満たすのではなく自他の精神で奉仕する事が大切で、誰かの喜びや幸せが自分の幸せとして満たされる、その様な考えのもと奉仕する事が大切であり、そうする事により奉仕に積極的に参加できるのだと思います。

## ■幹事報告

吉田和義幹事



### 1. 第11回定例理事会報告 定例理事会

出席者 12名+事務局

#### 1) 審議事項

- ①6月最終例会について →承認されました。
- ②明治安田の件 →承認されました。
- ③5月18日例会インターアクトの件 →承認されました。

#### 2) 報告事項

- ①ハイキング例会出席者  
R会員20名・家族会員6名・家族子供2名・BIG&R子供36名、IG&R指導者23名・案内人6名・事務局1名  
合計94名 内入金73,000円  
 $3000 \times 94 = 282,000$   
 $282,000 - 75,000 = 207,000$   
207,000円がロータリーの費用としかかります。

## 2. 幹事報告

- 1) ガバナー事務所より「トンガ王国海底火山噴火による災害支援」及び「ウクライナ支援」ご協力御礼とご報告が届いておりますので回覧いたします。
- 2) 本日、午後5時半より「第2回被選理事会・第2回委員長会議」が開催されますので担当役員・委員長はご出席下さい。

## 3. 他クラブからのお知らせ

- 1) 君津RCより「創立50周年記念式典・祝賀会」の御礼が届いておりますので回覧いたします。
- 2) 富津中央RCより「例会変更のお知らせ」が届いておりますので回覧いたします。
- 3) 木更津RCより「週報」が届いておりますので回覧いたします。

## 4. その他のお知らせ

- 1) 一般財団法人 比国育英会バギオ基金より「バギオだより5月号」が届いておりますので回覧いたします。
- 2) 公益財団法人 ロータリー米山記念奨学会より「委嘱状」が届いておりますので回覧いたします。

## 5. 回覧

- ・ガバナー事務所より「トンガ王国海底火山噴火による災害支援」及び「ウクライナ支援」ご協力御礼とご報告
- ・君津RCより「創立50周年記念式典・祝賀会」の御礼
- ・富津中央RCより「例会変更のお知らせ」
- ・木更津RCより「週報」
- ・一般財団法人 比国育英会バギオ基金より「バギオだより5月号」
- ・公益財団法人 ロータリー米山記念奨学会より「委嘱状」

## ■委員会報告

### ◆雑誌・姉妹クラブ委員会 阪中昌司委員長 【ロータリーの友 5月号の紹介】

#### 【横組み5ページ】

#### RI会長メッセージ

6月にヒューストンで開催される最後の会長主催会議は、「平和のために奉仕する」と題し、ロータリーが長年リーダーシップを発揮してきた平和に焦点を当てます。ロータリーで行う全ての活動は、地域社会、国、そして自分自身の中で平和を培うための土台づくりになります。

ウクライナ人のポーランドへの避難に関して、ロータリーが多大な支援を行っています。

ロータリーは、いつでも平和的な紛争解決を選び、可能な限り人々に援助と癒しを提供しています。今こそ、私たちの使命を再確認し、世界最大の平和推進者としてのロータリーの役割を果たす時です。「奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために」の実践こそが、平和を推進するための最善の方法なのです。

#### 【横組み7ページ】

#### 特集 青少年奉仕月間

##### 若年化する薬物パンデミック

若者の間で急増する大麻の乱用という記事が掲載されています。大麻の所持、譲渡で摘発された人が、初めて5千人を超え、全体の7割近くが20代以下で、若者の乱用が目立っているとのこと。最近では、コロナの影響で人と会えなくなって寂しいと再び手を出す人が出たり、SNSを通じて密売買されるケースが増えているとのこと。

特に大麻は、「有害性がない」「たばこや酒より安全」といった誤った情報が拡散し、急速に乱用が進んでいます。私たちが正しい知識を彼らに伝える責務があります、と訴えています。

#### 【横組み14ページ】

過去から現在に至るウクライナにおけるロータリーの歩みについて記載されています。過去から紛争に巻き込まれ存続の危機にあったウクライナにおけるロータリーの苦難の歴史や平和を願う様々な取組が紹介されています。

#### 【縦組み4ページ】

#### 講演要旨 低年齢化する子どもの

##### メディア漬け～2歳児問題～

#### 増田クリニック院長 増田彰則氏の講演要旨

子どものスマホ・ゲーム依存の問題を遡っていくと乳幼児までいき、そして行き着いたのが「2歳児問題」とのことです。4～6歳の7～8割がスマホやゲームをし、更に乳幼児では1歳児で1割、2歳児で5割がスマホをしていることが分かりました。その2歳の8割が、夢中になっており、やめさせようとすると半数で期限が悪くなり、中には痲癩を起す子どもがいます。

スマホが乳幼児に与える影響は、①アイコンタクトとスキンシップの減少、②睡眠が障害さ

れる、③イライラしやすくなる、④脳の発達の遅れ、⑤言語発達の遅れ、⑥社会性が育ちにくくなる、⑦注意力の低下、があげられます。子どもを守るのは最後は親です。国も業界も守ってくれません。一人一人が賢い消費者になり、わが子を守り、健全に育てることを第一に考えて下さい。

## ◆ニコニコボックス報告・出席報告

### 親睦出席委員会 宮寺順子会員

#### ◇鈴木荘一様

ガバナー補佐鈴木荘一様より大きく頂きました。



#### ◇青少年奉仕委員長

##### 小林裕治会員

本日は、木更津総合高等学校インターアクト部による卓話となります。顧問の長島先生には、約2ヶ月前から準備していただきました。皆様が途中で飽きないように、資料にはイラストや写真も多めに入れてもらいました。何十年ぶりか？に学生に戻ったつもりで楽しく聴いて頂けたら幸いです。

## ■例会アワー

### ◆青少年奉仕委員会

#### 叶川博章会員

こんにちは！青少年奉仕委員会の叶川です。本日の卓話は木更津総合高校の化学の先生であり、インターアクトクラブの顧問でいらっしゃいます長島沙也香先生にお願いしました。



テーマは「木更津総合高等学校インターアクトクラブの歴史、現在そして今後」であります。今日はインターアクトクラブの2年生メンバー8名の生徒さんも参加してください。今月は「青少年奉仕月間」です。当ロータリークラブと総合高校インターアクトクラブとの相互理解が更に深められればとの思いから今回の企画となったものです。長島先生は学校形式でないとうも緊張されるということなので、今日の卓話は学校形式で行います。

一つ会員の皆様にお願ひがあります、冒頭先生が生徒さんに号令をお願いしまして、生徒さんが号令をかけます、起立！気を付け！礼！ここで宜しくお願いします！そして着席となります。会員の皆さんもご一緒をお願いします。終わりの時は「有難うございました」となります。それでは、会員の中で一番高校生に近い田口会員にお手本をお願いしたいと思います。さー皆さん、高校生に戻った気分楽しく授業を受けて下さい。

それでは長島先生、宜しくお願い致します。

## ◆卓話者

◇木更津総合高等学校

インターアクト部顧問 長島沙也香様



### テーマ

「木更津総合高等学校  
インターアクト部の歴史、現在そして今後」

## 木更津総合高等学校 インターアクト部

歴史、現在そして今後・・・



### 1 時間目

## 自己紹介

長島 沙也香（ながしま さやか）

- 1993年4月12日生まれ
- 千葉県船橋市出身

- 2012年 千葉県立国府台高等学校 卒業
- 2016年 中央大学 工学部 応用化学科 卒業
- 2016年 4月より木更津総合高等学校に勤務

SNS同好会顧問-JRC部顧問-インターアクト部顧問

授業は化学を担当 特進クラスの3年生担任

### 1 時間目 自己紹介

1993年4月12日生まれ。千葉県船橋市出身。地元の小中を卒業し、高校は市川市にある千葉県立国府台高校を卒業。大学は中央大学工学部応用化学科に進み、紙から糖をつくり、バイオエタノールの新しい可能性を考えるような研究をおこなっていた。理科の楽しさを伝えたいと教職課程をとり、卒業後、縁あって木更津総合高校へ。教員2年目にはSNS同好会の顧問、その後、JRC部（JRC=junior red cross 青少年赤十字）の顧問を任命され、3年ほど前より、インターアクト部顧問に。2つともボランティア関連の部活ではあるが、JRC部は赤十字の精神をもとに世界の平和と人類の福祉に貢献できるような活動をしており、日本赤十字センターで、義足の

体験や車椅子体験をしたりなど、福祉をメインにおいていた。授業は化学を担当し、現在は特進クラス3年生の担任。

本日は部員のうち、2年生と一緒に来た。

### [2年生部員の自己紹介]

富永 遥人	(とみなが はると)
川名 里奈	(かわな りな)
石塚 琢磨	(いしづか たくま)
金田 朔弥	(かねだ さくや)
富永 美姫	(とみなが みき)
馬場 真央	(ばば まお)
平川 龍正	(ひらかわ りゅうせい)
宮下 廉大	(みやした れんた)



### 2 時間目

## インターアクトクラブとは？

### ◇インターアクトクラブとは？

ロータリークラブにより提唱された、  
12歳～18歳までの青少年または高校生のための  
社会奉仕クラブのこと。

日本では、高等学校の部活動としておかれることが一般的。  
高校に属さない地域クラブとしての活動クラブもある。

インターアクトクラブは、ロータリークラブにより提唱された、12歳～18歳までの青少年または高校生のための社会奉仕クラブ。日本では、高等学校の部活動としておかれることが一般的だが、高校に属さない「地域クラブ」としての活動クラブもある。

### ○ インターアクトクラブはいつからあるの？

◎ 世界にロータリークラブができたのが905年

**問題** 世界にインターアクトクラブができたのは何年頃か？

- ① 1920年頃
- ② 1940年頃
- ③ 1960年頃
- ④ 1980年頃
- ⑤ 2000年頃



### ○ インターアクトクラブはいつからあるの？

International action

- 1920年代 ロータリークラブは若者の活動支援を始めていた若者が善良な市民となれるよう導き、教育や健康、衛生などに関する推進活動を実施
- 1950年代 ロータリアンは若者に特化したプログラムを作り、活動を強化していこうと計画
- 1962年 ロータリー理事会が「インターアクト」という名称を承認

### ○ インターアクトクラブはいつからあるの？

1962年

米国で最初のクラブ  
メルボルン高校インターアクトクラブ  
(メルボルンRC)が設立



### ○ インターアクトクラブはいつからあるの？

1963年6月 日本の宮城県 仙台育英学園高等学校  
(提唱 仙台東RC)に設立

京都府 京都市立西京高等学校  
(提唱 京都西RC)に設立

**現在 国内約30地区に約550クラブ**

1905年にロータリークラブができて以降、1920年代 ロータリークラブは若者の活動支援を始めていた。若者が善良な市民となれるよう導き、教育や健康、衛生などに関する推進活動を実施していた。奉仕の理想を青年、しかもある程度成功した社会人に浸透させるよう努力していたが、それよりも早い段階でということで、青少年にまで活動の範囲を広げていく。1950年代になるとロータリアンは若者に特化したプログラムを作り、活動を強化していこうと計画。1962年にロータリー理事会が「インターアクト」という名称を承認した。インターアクトは International action (国際的な活動) を組み合わせた言葉となっている。ついに1962年に米国で最初のクラブと

してメルボルン高校インターアクトクラブ (メルボルン RC) が設立。日本では1963年6月に日本の宮城県 仙台育英学園高等学校 (提唱 仙台東 RC) に設立された。少し遅れて、京都府 京都市立西京高等学校 (提唱 京都西 RC) に設立。現在、国内には約30地区に約550のクラブが存在。

### ○ インターアクトクラブの目的

世界に友だちを広げながら  
ボランティア精神と国際感覚を身につける

地元でのボランティア活動や海外のインターアクト会員との交流を通じて視野を広げ、国際感覚を養っていく。

ロータリークラブの支援を受けて設立されるインターアクトクラブでは、友だちと一緒に楽しみながらロータリーの「超私の奉仕」を学び、行動力を身につける。

インターアクトクラブの目的は、世界に友だちを広げながらボランティア精神と国際感覚を身につけるといふところにある。地元でのボランティア活動や海外のインターアクト会員との交流を通じて、視野を広げ、国際感覚を養っていく。ロータリークラブの支援を受けて設立されるインターアクトクラブでは、友だちと一緒に楽しみながらロータリーの「超私の奉仕」を学び、行動力を身につける活動をしている。超私の精神はロータリーの標語の一つで、利己と利他の心を上手く調和させる哲学のこと。「最も奉仕する者、最も多く報いられる」という実践的な倫理原則に基づくものである。

### ○ インターアクトクラブの目標

国際ロータリーの承認のもと

- 1.建設的な指導力を養成し、自己の完成を図る。
- 2.他人へ対する思いやりと、他人の力になる心構えの奨励と実践。
- 3.家庭と家族の重要性の認識と涵養。
- 4.各自の責任を果たし、懸命に努力する。
- 5.全ての有用な職業は社会に奉仕する機会であるとしてその品位と価値を自覚する。
- 6.地域社会、国家及び世界の問題についての知識と理解を深める。
- 7.国際理解と親善の推進。

インターアクトクラブの目標としては、国際ロータリーの承認のもと

1. 建設的な指導力を養成し、自己の完成を図る。
2. 他人へ対する思いやりと、他人の力になる心構えの奨励と実践。
3. 家庭と家族の重要性の認識と涵養(かんよう)。※涵養…自然に染み込むように養成すること
4. 各自の責任を果たし、懸命に努力する。
5. 全ての有用な職業は社会に奉仕する機会であるとしてその品位と価値を自覚する。
6. 地域社会、国家及び世界の問題についての知識と理解を深める。
7. 国際理解と親善の推進。ということが挙げられている。

## ○ インターアクトクラブの現在

インターアクトクラブ数  
14,911

インターアクター数  
342,953

インターアクトクラブがある国  
145

世界のインターアクトクラブを見てみると、インターアクトクラブ数 14,911、インターアクター数 342,953、インターアクトクラブがある国は 145 となっている。(2022 年 5 月現在、国際ロータリーHP に記載されているものより引用)

千葉県内には現在 13 のインターアクト部がある。

木更津総合高等学校

(提唱 木更津東ロータリークラブ)

市原中央高等学校

(提唱 市原ロータリークラブ)

県立茂原樟陽高等学校

(提唱 茂原ロータリークラブ)

県立安房拓心高等学校

(提唱 千倉ロータリークラブ)

県立千葉商業高等学校

(提唱 千葉西ロータリークラブ)

県立大原高等学校

(提唱 大原ロータリークラブ)

千葉黎明高等学校

(提唱 八街ロータリークラブ)

光英 VERITAS 高等学校

(提唱 松戸ロータリークラブ)

千葉経済大学附属高等学校

(提唱 新千葉ロータリークラブ)

県立館山総合高等学校

(提唱 館山ロータリークラブ)

東海大学付属望洋高等学校

(提唱 市原中央ロータリークラブ)

成田高等学校 (提唱 成田ロータリークラブ)

愛国学園大学附属四街道高等学校

(提唱 四街道ロータリークラブ)



## 3 時間目

### 木更津総合高校インターアクト部

## ○ 木更津総合高等学校の歴史

- 1963年 真板益男により、木更津中央高等学校として開校。全校生徒数およそ2100人。
- 1973年 清和女子短期大学附属高等学校 設立
- 2003年 二つの学校を統合し、木更津総合高等学校現在の校名になる。

## ○ 木更津総合高校インターアクト部



1971年度の卒業生、木更津中央高校6期生(1969年入学)の卒業アルバムにインターアクト部の集合写真

1965年度の卒業生の同窓会名簿に、インターアクト部所属という文面

学校創立の1963年~1965年までの間にインターアクト部が創部??

## ○ 木更津総合高校インターアクト部

### 現在の部員

3年生 男子 2名 女子 1名

2年生 男子 5名 女子 3名

1年生 男子 3名 女子 7名

計 男子 10名 女子 11名 **21名**

## 3 時間目 木更津総合高校インターアクト部

まずは、木更津総合高等学校の歴史について。1963年、真板益男により、木更津中央高等学校として開校。このときの全校生徒数およそ2100人。今も同数ほどいる。1973年には清和女子短期大学附属高等学校が設立。その後、2003年に二つの学校を統合し、木更津総合高等学校という現在の校名になった。

いつからこのインターアクト部があるのかを調べたが、正式なデータとしては残っておらず、昔の部活動がわかるものも校内にいなかったため、文献を漁ってわかった範囲のこと。1971年度の卒業生、木更津中央高校6期生(1969年入学)の卒業アルバムにインターアクト部の集合写真があった。それ以前の卒業アルバムは保管されていなかったが、1965年度の卒業生の同窓会名簿に、インターアクト部所属という文面があった。1965年度卒業ということは、木更津中央高校の第一期生。学校創立の1963年~1965年までの間にインターアクト部が創部されたのでは、と考えられる。つまり創部57年以上になる。

現在、木更津総合高校の部員は、3年生男子2名女子1名、2年生男子5名女子3名、1年生男子3名 女子7名の計21名が所属。私が顧問になってからは一番多い人数。

## ○ 部活での活動

### 校内 清掃活動



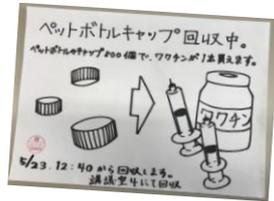
普段おこなっている活動の紹介。21名中、19名が総合高校特進クラスの生徒。放課後は普通の生徒が6時間授業で終わる中、7時間目をやってから進学補習があったり、模擬試験を受けたり、勉強に忙しい毎日を送っている。そ

の中でみんなの予定を合わせながら少しずつ活動を実施。毎週おこなっている活動の一つが校内の清掃活動。特に駐輪場は飲み物や食べ物が落ちていることも多く、手分けしてゴミ拾いをしている。

部活での活動



ペットボトルキャップ回収運動



ペットボトルのキャップ回収もおこなっている。各クラスに回収BOXを設置してもらい、ポスターなどで啓発活動をして協力をお願いしている。回収業者にリサイクル資源として売られ、その利益が世界の子どもにワクチンを日本委員会（通称JCV）の寄付となり、世界のワクチン工場に発注をしてもらうことができる。ペットボトルキャップ 2kg で一人分のワクチンとなる。

部活での活動



年次大会での他校との交流

年に一度、年次大会という千葉県内のインターアクト部の集まりに参加している。去年はオンラインで実施された年次大会に参加をした。普段は関われない、他の学校の生徒たちの活動を知ることができ、今後の活動の参考になった。運営側として自分たちと同じ高校生たちが指揮をとり、進行をしていた姿にも刺激を受けた。先輩たちは、直接他校の生徒や留学生とコミュニケーションをとり、グループワークなどをおこなったと聞いた。

部活での活動



指導者講習会



指導者講習会という「次世代のインターアクト指導者育成を目的とした講習会」もインターアクトの行事には組み込まれている。指導者講習会という名前だが、先生たちのためのもので

はなく、生徒主体の会。講演を聴いたり、他校の生徒とグループワークなどをしたりする。昨年度はテスト期間と被っていたこともあり、参加することができなかったが、今年は参加できそうなので、楽しみにしている。

部活での活動



台湾 国外研修



部活での活動

国外研修 校内発表会



台湾での国外研修にもコロナ禍前は参加をしていた。台湾のインターアクトクラブの人たちと、言葉の壁を飛び越えて、交流をしたり、文化を学んだり、様々な場所を見学したり、おいしいものを食べることもできた。国外研修後は、他の生徒や先生に向けての報告会を開いていた。たくさんの生徒が来てくれて、興味深そうに話を聞いてくれていたそう。台湾の話聞いて、部活に入ってくれる生徒もいたと聞いている。

部活での活動

ハイキング例会



校外では、木更津東ロータリークラブさんの活動に参加させてもらっている。先日5月8日には、ハイキング例会に参加をした。木更津駅の西口を散策したが、木更津に通っているにもかかわらず、全く知らないことばかりだった。

部活での活動



太田山公園 清掃活動

### 部活での活動



太田山公園 桜の植樹活動



太田山公園の清掃も実施。学校の近隣にあり、馴染みのある公園が少しずつきれいになっていくのはとてもやりがいがある。桜の植樹活動にも参加させていただいた。看板の裏に名前を書かせてもらったので、桜が大きくなって咲くようになったら見に行きたいと思う。桜の名所として桜がいっぱいになるのが楽しみ。

### 部活での活動



歳末募金活動

年末には木更津駅前で、赤い羽根の歳末助け合い募金をおこなった。募金金額は、福祉施設や放課後児童クラブの助成金、低所得者世帯への見舞金につかわれる。昨年末は1時間という短い時間で、ロータリークラブの皆様のおかげもあり、12万2718円が集まった。

### 部活での活動



RYLAセミナーへの参加

その他、私たちはまだ経験することができていないが、RYLAセミナーにも先輩方は参加していた。年齢性別を問わずいろんな人と話す機会があり、たくさんの学びがあった活動だと聞いた。再開されたら、参加してたくさんの人と交流したい。

### 部活での活動



木更津福祉まつりの手伝い

社会福祉協議会がおこなっている福祉まつりの手伝いなどもしていた。本校の福祉コースとJRC部と一緒にバザーの手伝いや、障害のある人の補助を行っていたそう。そういった課外活動がコロナ禍で減ってきてしまっているのは残念だが、今できる活動をこれからも模索していきたい。ロータリークラブさんと一緒に行う活動ももっと増やしていきたいと考えているので、これからもどうぞよろしくお願い致します。

- インターアクト年間行事予定は以下の通り。
- 4月 第1回インターアクト顧問・合同会議  
ハイキング例会
  - 6月 インターアクト指導者講習会
  - 7月 第2回インターアクト顧問・合同会議  
太田山清掃活動
  - 8月 年次大会
  - 9月 第3回インターアクト顧問・合同会議  
海岸清掃環境保全プロジェクト
  - 10月 国外研修オリエンテーション  
地区大会 青少年の集い  
世界ポリオデー祈願プロジェクト
  - 11月 国外研修  
太田山植樹活動
  - 12月 歳末助け合い募金活動
  - 3月 第4回インターアクト顧問・合同会議



### 4 時間目

### 今後のインターアクト部の活動予定

### 今後の活動

- ①ゴミ拾い活動を  
校内から校外へ!



- ②ペットボトルキャップ回収  
運動で生徒会との協力



### 4 時間目 今後のインターアクト部の活動予定

今後のインターアクト部の活動に関して、部員が増えたこともあり、活動も増やしていきたいと考えている。まずは普段おこなっている、校内の清掃活動だが、駐輪場だけでは手狭になってしまったので、さらに範囲を増やしたい。学校周辺や駅の周辺まで活動の場所を広げることを検討している。

ペットボトルキャップ回収に関しては、本校生徒会が活動に興味を示し、協力すると言ってくれている。全校生徒に向けたアピールを増やし、生徒全体の国際協力の場をつくっていききたい。

## 今後の活動

### ③オンラインによる 例会への参加



### ④太田山の清掃活動の 回数を増やす



ロータリークラブさんとの合同活動として、次年度会長の大里さんと、さらなる活動を実現しようと協議を進めている。

まず、オンラインによる例会への参加。授業を何度も休むことはできないので、今までは年に数回の出席しかできていなかった。講話の時間がちょうど本校のお昼休みと被るそうなので、オンラインで本校と例会会場をつなげ、講話を聞いて生徒の学びの機会を増やしていきたい。

また、太田山公園の植樹活動に例年参加をしているが、まだまだ手を入れなくてはならない場所があるとのこと。休日の活動の一環として、清掃活動を実施し、きれいな太田山公園にする手伝いをしたい。

## 今後の活動

### ⑤木更津総合高校に向けた 教育講演会の実現



最後に、木更津総合高校への教育講演会実施に向けて動いていただいている。インターアクト部員も、その運営に携われるということ。全校に向けたインターアクトの活動周知も含め、準備を進めていきたい。

インターアクト部は、木更津東ロータリークラブさんの支援により、活動ができています。今後さらに、一緒に活動をする機会が増えればと思っておりますので、今後もしもご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

ご清聴ありがとうございました！

青少年奉仕月間として、例会後に総合高等学インターアクト部を招待して、オークラアカデミアパークホテル社会科見学ツアーを実施しました。



## 例会の様子



## 本日のメニュー



◆点鐘 13時30分 上総RC 牧野吉晃会長

木更津東ロータリークラブ事務局メールアドレス eastkisarazu-rc@nifty.com